コーディネーター

伊藤勝久氏（島根大学生物資源科学部教授）

森林管理に関する幅広い研究と活動に取り組んでいる。
３０年後の日南町の姿プロジェクト、日南町環境林でんでんハウスをベースとして日南町をフィールドとした活動など日南町との関わりが深い。

パネラーのみなさん

青山佳世氏（フリーアナウンサー）

観光、地域づくり、川、道、交通、環境、森林などをテーマに市民の立場から幅広く活動する。
林野庁「林政審議会」国土交通省「交通政策審議会」など国や自治体の審議会委員を務める。
平成２４年度全国町村長大会で
「第２のふるさとへ感謝を込めて」
と題し講演、好評を博した。
著書に「旅で見つけた宝物」（文芸春秋）など。

嶋沢和幸氏（鳥取県森林林業振興局長）

鳥取県森林保全課長、農林水産部次長を歴任、
平成２５年４月～現職。

入澤　淳氏（日南町森林組合専務理事）

家業の林業に携わり、平成２４年５月から日南町森林組合の理事。

北垣　聡氏（NPO法人親子支援hughug理事長）

子どもならびに親に対して、大山などの森林をフィールドとして、子育て、親育て、さらに自然環境に関する事業を行うことで子供の健全育成、育児不安の解消及び自然環境保全活動を行っている。
（法人設立目的から抜粋）

会場アクセス

日南町の森林現況

日南町の総面積	34，087ha	
日南町の山林面積	30．346ha	（林野率　89%）
日南町の民有林面積	29，036ha	（民有林率　96%）
民有林のうち人工林	18，200ha	（人工林率　62%）
人工林のうちスギ	9，512ha	（スギ比率　52%）
人工林のうちヒノキ	5，124ha	（ヒノキ比率　28%）
人工林のうちマツ	3，543ha	（マツ比率　19%）

山林200haを再造林した場合の経済効果

	作業面積(ha)	事業費(千円)
●主伐・搬出	200	327,400
●再造林	200	186,000
●下刈り	1,200	186,000
●雪起こし	600	90,000
●除伐	200	39,400
●間伐	400	54,000
●枝打ち	400	134,000
合計	3,200	1,016,800

新たに生まれる雇用

	面積(ha)	ha（人）	必要人員	（人・日/年）
●再造林	200	65	13,000	
●下刈り	1,200	13	15,600	造林後6年
●雪起こし	600	6	3,600	造林後3年
●除伐	200	15	3,000	1回
●間伐	400	5	2,000	2回
●枝打ち	400	15	6,000	2回

波及効果

◆ 冬期間も枝打ち、切り捨て間伐作業による通年雇用が可能
◆ 新植にかかる苗代だけでも6000万円／年の事業が生まれる
◆ 作業道の整備による建設事業への経済効果あり

＜ポイント＞

持続可能な雇用の創出
町内の山林に利用可能な資源がすでに存在する
事業実施主体は森林林組合、町内事業者、町など限定されるものでない